

molift[®]
a part of Etac

モーリフト ムーバー 205

取扱説明書



この度は「モーリフト ムーバー 205」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本製品の機能を生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解ください。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などにより予告なく変更する場合があります。
※必ずご購入された製品に梱包されている取扱説明書でご確認ください。

k パシフィックサプライ株式会社

※Kマークは川村義肢株式会社の登録商標です。
※製品に関するお問い合わせは本取扱説明書最終ページをご参照ください。

転載複写厳禁

モーリフト ムーバー 205 の特徴

モーリフト ムーバー 205は、介助者の負担を軽減し、ご利用者の快適な移乗をお手伝いする床走行リフトです。

ベッド・車椅子間の移乗や床からの移乗にお使いいただけます。

●充実した安全機能で安心してお使いいただけます。

●2点ハンガー、4点ハンガーの付け替えが可能です。

※スリングは別売です。この取扱説明書では、モーリフト社製「イージースリング」を用いてリフトの操作方法を説明しています。

もくじ

1. 安全にご使用いただくための注意事項	3
2. 各部の名称と説明	
・リフト本体について	7
・付属品について	7
3. 仕様	9
4. 組立て方	10
5. リフトの使用方法	
・ベッドからの移乗／ベッドへの移乗	12・14
・床からの移乗／床への移乗	14・15
・車椅子からの移乗／車椅子への移乗	16
・移動する	17
・安全のための機能	17
・緊急時の降下方法	18
6. サービスランプ	19
7. バッテリーについて	
・バッテリーの取扱い	20
・充電方法	20
8. 保守・点検	
・お手入れ方法	21
・保管上のご注意	21
・点検	21
・廃棄方法	21
9. 故障かな？と思ったら	22
10. アフターサービスについて	23
11. 保証書	24

1. 安全にご使用いただくための注意事項

ここへ記した注意事項は本製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですのでよくお読みいただき、正しくお使いください。

リフトをお使いいただく前に

- この取扱説明書の「8. 保守・点検」の項目および内容を必ず守り、リフト本体およびリフト関連製品(スリング等)の安全を確認してください。
- 対象者にリフトを使用する前に、介助者は他の人にリフトを使用し、リフトの操作を十分に練習してください。また、介助者はリフトに吊られる体験をしてください。どのように吊られるかを知ることは大切です。ご使用になるスリング全てを使って練習や体験をしてください。

絵表示について

この取扱説明書では様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上本文をお読みください。

<注意事項> 誤った取扱いによって生じることが想定される内容を、危害や損害の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分し、説明しています。必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---

<ポイント> この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。

 i	この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。
--	-------------------------------------

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

※レンタルなどで本製品を貸し出す場合には、この取扱説明書も一緒に貸し出してください。

また、説明書をよく読んでから使用するよう指導してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- リフトを使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、内容を理解してください。内容を理解し、実行できない方には操作させないでください。
- リフトの導入に関しては、医師やPT（理学療法士）、OT（作業療法士）などにご相談ください。対象者の身体状況によっては、リフトの使用により症状が悪化する恐れがあります。対象者の症状、身体機能および介助者の機器への適応能力などをご相談ください。
- 操作は必ず介助者が行ってください。また介助者は対象者を懸垂している間はそばを離れないようにしてください。
- 子供のいたずらに注意してください。子供には触らせないようにし、思わぬいたずらに注意してください。
- 体重が205kgを超える方には絶対に使用しないでください。
モーター 205の耐荷重は205kgです。
- 安全のために、ご使用前に必ずリフトと付属品の点検を行ってください。（8.「保守・点検」参照）何か異常を発見した場合には、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 次のような症状が発生したら、バッテリーをただちに取り外してください。
 - ・電気装置やケーブル、または電気絶縁部の破損
 - ・安全装置の破損、欠陥
- 製品の分解、改造やお客様による修理はしないでください。発火、感電、事故、けがの原因になる恐れがあります。故障の際にはお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 充電器のコードは、傷つけたり重たいものを載せたり無理に曲げたりしないでください。コードを傷め、火災や感電の原因になります。
- リフト本体や充電器に水などの液体をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。リフトは防沫仕様ですが、常時水を使用する場所や湿気の著しい場所で使用、保管しないでください。故障や感電の原因となります。
- 浴室内で充電しないでください。感電する恐れがあります。
- リフトは操作ハンドルを持ち、押すもしくは引いて移動させてください。懸垂中の対象者やアーム、支柱を持って移動させないでください。
- 傾斜地での移動、昇降や段差の乗り越えは行わないでください。傾斜している場所やカーペット上での移動、敷居の乗り越えなどを行おうとするとリフトが転倒し、けがにつながる恐れがあります。
- リフトを使用する前に、支柱が適切に固定されているかご確認ください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- リフトで懸垂する際は、スリングの4つのストラップがリフトのフックにかかっていることをご確認ください。4つのストラップ全てが確実にフックにかかっていないと、対象者がスリングから転落し、けがをする恐れがあります。
- スリングの取扱いについては、ご使用になるスリングに添付されている取扱説明書をよくお読みください。スリングの使用前後にはストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどが無い点検してください。何か異常を発見した場合にはただちに使用を中止してください。

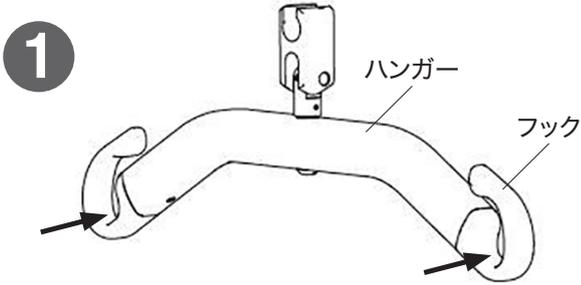


注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

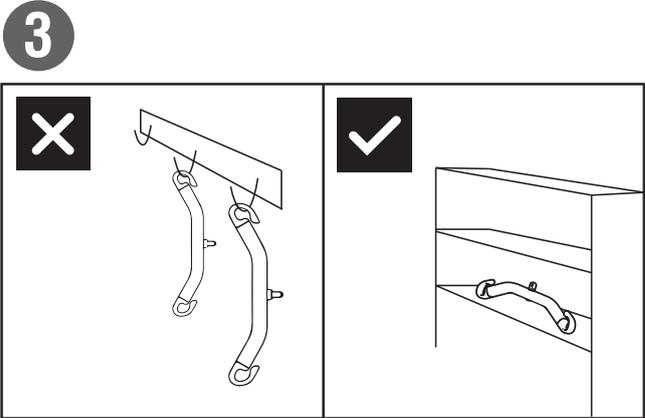
- 人以外のものを吊らないでください。故障・事故の原因となります。
- リフトは室内温度10℃から40℃の条件でお使いください。車で運搬する際には車内が40℃以上になる場合もありますのでご注意ください。お使いになる場合には室内温度になるまでお待ちください。
- アームや支柱をたたむ際には脚、腕、手などを挟まないようにお気をつけください。
- 充電が必要になったらすみやかに使用を中止し、バッテリーを充電してください。使用中にバッテリーが切れた時のために、バッテリーを2個持つことをお勧めいたします。
- バッテリーを充電する際には、必ず専用の充電器をご使用ください。誤った充電器をご使用になるとオーバーヒートし、パワーパックを破損する恐れがあります。
- 対象者が安心して快適に移乗できるよう、声かけをしながら対象者の様子に注意して作業してください。対象者がずり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。
- モーリフト ムーバー 205にはモーリフト社製スリングの使用を推奨します。モーリフト社製スリングは、4点ハンガー・2点ハンガーの両方に適合する仕様になっています。その他のスリングは仕様が異なっていますので、不適合により懸垂時に不安定になったり、けがや事故につながる恐れがあります。
- リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車いすなどにぶつからないよう十分にご注意ください。
- 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、ベッドから車椅子へ移乗する際の方向転換など、ごく短い距離の移動のみに使用してください。車椅子などのように部屋から部屋へ移動する為には使用しないでください。
- 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、対象者をなるべく低くした状態で移動してください。重心が低くなり、安定性が増します。可能であれば、対象者がリフトの支柱の方を向くようにし、対象者の足底をリフトの胴体部分に置いてください。またリフトの脚部を開くとより高い安定性が得られます。
- リフトを使用しない時には、平らで安全なところへ置いてください。直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

モーリフト 2点ハンガーを安全にご使用いただくために



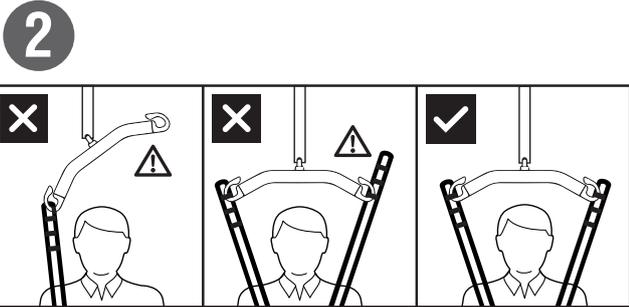
1

リフトの使用前は毎回必ずフックに外見上の破損がないことを確かめてください。破損を確認する際、フック内側(上図矢印部)の表面を点検することが最も適切です。破損している製品は決して使用しないでください。



3

左図のようにハンガーをU字フックに掛けて保管しないでください。落下や局所的な負荷によりフックが破損する恐れがあります。保管される際は右図のように置くようにしてください。



2

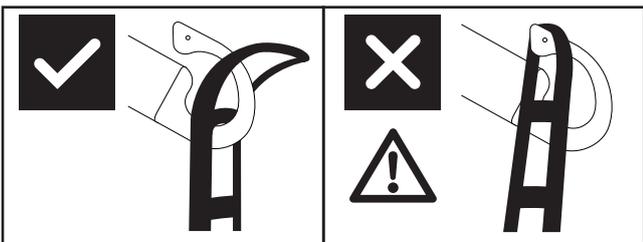
ハンガーには異常な力やねじれを決して加えないでください。フックは垂直方向の負荷がかかることのみを前提に設計されています。スリングシートストラップは正しく、確実にフックへ掛けて使用してください。

スリングシートのはしご状ストラップの掛ける箇所は左右同じ位置でご使用ください。

4

ハンガーは移乗介護の用途でのみご使用ください。用途外の目的では決してご使用にならないでください。

製品の欠陥にお気づきの際は、確信がなくともどうぞ遠慮なく弊社までご相談ください。



フックのデザインは左図のように正しく掛けられたスリングシートストラップがうっかり外れることを防ぐよう設計されています。

2. 各部の名称と説明

2-1 リフト本体について

アーム

アーム圧迫防止機能を備えています。万が一「アーム」と「ハンガー」が下がりすぎて対象者に接触した場合、それ以上は下方への力を発生せず、対象者を圧迫することを防ぎます。

ハンガー

2点吊りと4点吊りとで付け替えが可能です。

フック

スリングのストラップを掛けるためのフックです。

前輪キャスター

6輪あります。

アクチュエーター

バッテリー駆動式のアクチュエーターによって「アーム」の昇降を行います。

脚部

脚部は電動で開閉することができます。

手動降下ハンドル

(P8 2-3参照)

操作ハンドル

リフトを移動させる際に持ち、押すもしくは引いて移動させてください。

バッテリーホルダー

上方からバッテリーを差し入れてください。バッテリーがバッテリーホルダーに入っている間中、電源が入っています。バッテリーホルダーの外側に「充電ランプ」「サービスランプ」「緊急降下スイッチ」「緊急停止ボタン」がついています。

緊急降下スイッチ

(P8 2-5参照)

後輪キャスター

2輪あります。ロック付き。リフトを使用する際にはロックをかけず、保管時等でリフトを使用しない時のみロックをかけます。

胴体

リフトの胴体部分です。

2-2 付属品について

バッテリー

モーリフトパワーパック(26.4V NiMH 2.6Ah)。リフトのバッテリーホルダーや充電器には、白色の▽マークが下向きになる方向に入れてください。

充電器

モーリフトパワーパック(26.4V NiMH 2.6Ah)の急速充電器です。LEDランプで充電中の状況をお知らせします。

(P20「7.バッテリーについて」参照)



2-3 本体中央部

コントローラーホルダー

操作ハンドルの上下の付け根2箇所にあります。コントローラーのコードが後輪キャスターや介助者の足に引っかかるのを防ぐために、コントローラーをつりさげます。



手動降下ハンドル

緊急時、「緊急降下スイッチ」を押しても降下できない場合に使用します。手動降下ハンドルを上方に引いている間、対象者を降下することができます。

2-4 コントローラー

「アーム」の昇降、「脚部」の開閉を行うボタンがあります。2分間何もしなければ、バッテリーの消費を防ぐためスタンバイ状態になります。

充電ランプ

バッテリーの電圧が低下したことを知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。



上昇ボタン

開脚ボタン

下降ボタン

閉脚ボタン

2-5 バッテリーホルダー部拡大図

サービ斯拉ンプ

リフトの状態を知らせます。リフトが使用可能な場合は、緑色のLEDランプが点灯します。(P19「6.サービ斯拉ンプ」参照)

緊急降下スイッチ

緊急時に対象者を降下させます。スイッチを押している間アームが降下し、スイッチを離すと降下が止まります。

コネクター

コントローラーの接続部分です。



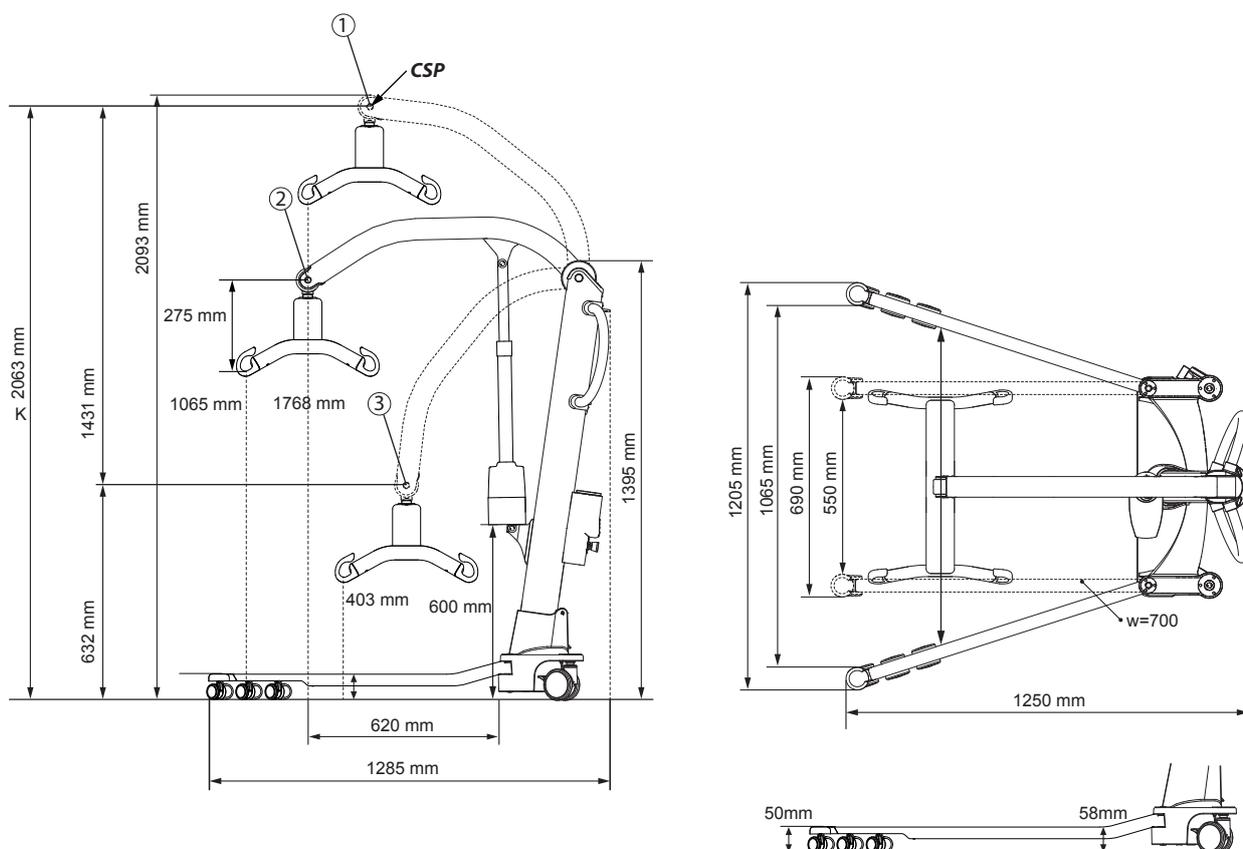
充電ランプ

バッテリーの電圧が低下したことを知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。

緊急停止ボタン

緊急時にアクチュエーターの電源を切り、リフトを停止させるボタンです。昇降中に緊急停止ボタンを押すとアームの昇降が停止します。緊急停止を解除する場合には、緊急停止ボタンが飛び出すまで時計回りに回します。

3.仕様



	サイズ
重量	38.8kg(バッテリー、ハンガーを除く) 42.6kg(バッテリー、ハンガーを含む)
材質	スチール、アルミニウムとプラスチック合成物
モーター	DC24V
バッテリー	モーリフトパワーパック(26.4V NiMH 2.6Ah)
耐荷重	205kg
脚部の高さ	最小50mm 最大58mm
使用時の最大寸法	長さ1250mm×幅1160mm×高さ1935mm
キャスター	前輪 直径35mm×6輪
	後輪 直径100mm×2輪(ロック付き)

※下記のイラストの寸法は mm(ミリ)です。

4. 組み立て方

4-1 組み立て方法



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●リフトを使用する前に、支柱が適切に固定されているかご確認ください。

① 写真の内容物が全て揃っているか確認してください。

ハンガー

(2点吊りと4点吊りを選べます。)

※写真のハンガーは4点吊り

ロックハンドル

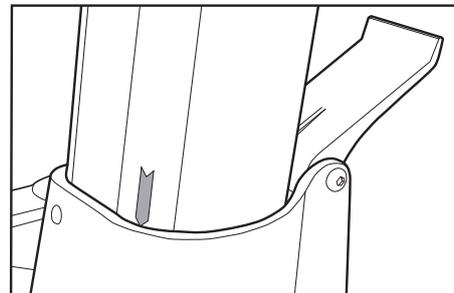
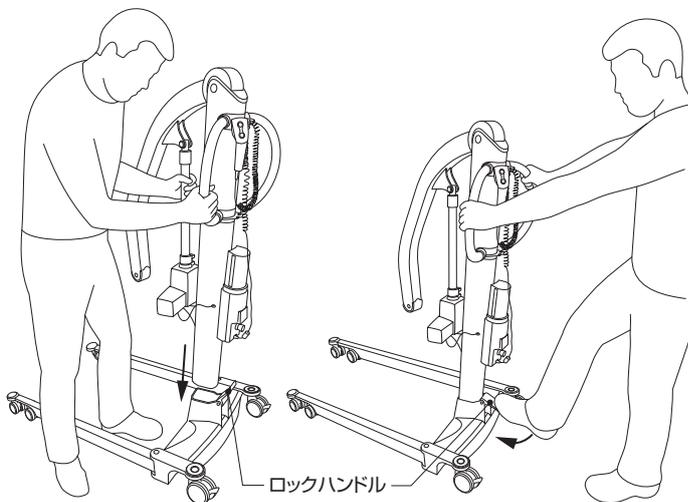


コントローラー

バッテリー

(モーリフトパワーパック)

2 胴体に支柱をはめ込みます。



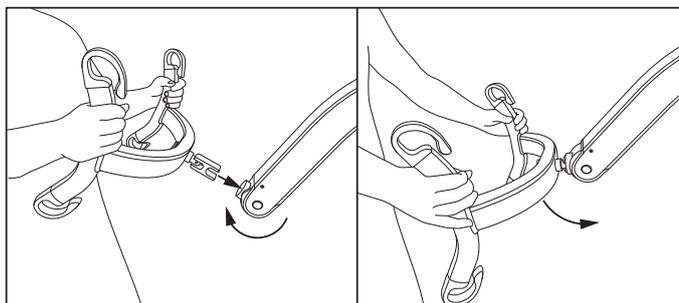
ロックハンドを固定する際に、支柱の下部にある赤い矢印が胴体の端にそろっていることを確認してください。

胴体のロックハンドルを引き上げた状態で、支柱を置くまで差し込みます。
ロックハンドルを、足で踏むなどでしっかりと引き下げ固定します。

3 ハンガーを取り付けます。

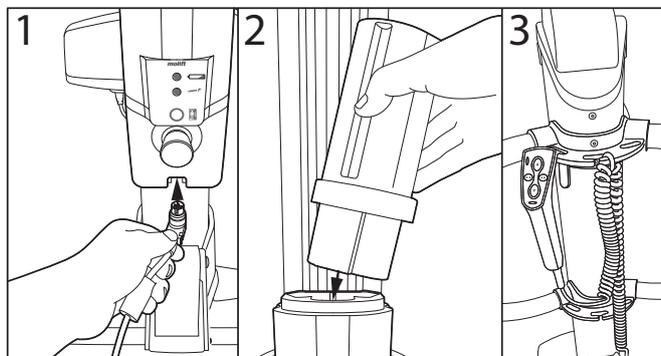
アームのハンガー固定部を上位置にします。

ハンガーのボルトを挿入します。
ボルトが、完全に挿入されるとハンガーが自由に回転します。



4 バッテリーとリモコンを装着します。

1. リモコンをバッテリーホルダーの下部に接続します
2. バッテリーを挿入します
3. リモコンのケーブルを操作ハンドルのフックに引っ掛け、万一落下しても床にぶつからないようにします。



5. リフトの使用法

※スリングは別売りです。この取扱説明書では、モーリフト社製「イージースリング」を用いてリフトの操作方法を説明しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- スリングの取扱いについては、ご使用になるスリングに添付されている取扱説明書をよくお読みください。
- スリングの使用前後にはストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどがないか点検してください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- モーリフト・ムーバー205にはモーリスト社製スリングの使用を推奨します。
- モーリフト社製スリングは、4点ハンガー・2点ハンガーの両方に適合する仕様になっています。その他のスリングは仕様が異なっていますので、不適合により懸垂時に不安定になったり、けがや事故につながる恐れがあります。
- 対象者が安心して快適に移乗できるよう、声をかけながら対象者の様子に注意して作業してください。
- 対象者がずり落ちそうになったり、傷みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。

5-1 ベッドからの移乗



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- キャスターが止まったり、傾いたりする原因になりますので、ベッド下の障害物にはご注意ください。
- 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、対象者をなるべく低くした状態で移動してください。こうすると重心が低くなり、安定性が増します。
- 懸垂中、可能であれば、対象者がリフトの支柱の方を向くようにし、対象者の足底をリフトの胴体部分に置いてください。また、リフトの脚部を開くとより高い安定性が得られます。
- リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車椅子などにぶつからないよう十分にご注意ください。特に動き始めや曲がったり止まったりするときに、対象者が大きく揺れる場合があります。

- 1 ベッド上で対象者にスリングを装着します。
(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)

※スリング装着後、高さ調節機能付きのベッドをお使いの場合には、ベッドの高さを低くします。対象者を高い位置で懸垂しないようにするためです。



- 2 ハンガーが対象者の体幹の真上にくるように、リフトの脚部をベッドの下に入れます。



- 3 コントローラーの降下ボタンを押し、スリングのストラップを掛けられる高さまでハンガーを降下します。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。ハンガーは図のように対象者にまたがるような状態でお使いください。ハンガーが対象者に対して左右均等の位置にあることをご確認ください。



正

誤

- 5 臀部がベッドから離れたら、コントローラーの上昇ボタンを離して上昇を止めます。あまり高く上げる必要はありません。対象者の両足を持ち、支柱の方を向くように回転させます。

- 4 スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部／体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。4つ全てのストラップがフックにかかっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇ボタンを押し、対象者の臀部がベッドから離れるぐらいまで対象者を起こしていきます。対象者が起き上がっていく際に位置修正が必要な場合には、スリングの背中側の握り手をお使いください。



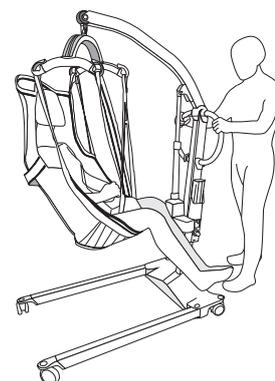
※背上げ機能付きのベッドをお使いの場合には、対象者をより快適に懸垂するため吊り上げる前にベッドの背を上げてください。

- 6 リフトの操作ハンドルを持ち、リフトをベッドから引き出します。

※移動の際には十分にご注意ください。曲がったり、止まったり、動き始めたりするときはリフトで吊り上げられている対象者は大きく揺れる場合があります。特に家具の近くでは注意してリフトを移動させてください。

5-2 ベッドへの移乗

- ① リフトの操作ハンドルを押し、対象者を懸垂した状態のリフトの脚部をベッド下に入れます。このとき対象者の臀部や足がベッドに当たらないようご注意ください。リフトは、対象者をベッドの中央に降ろすことができる場所に位置します。キャスターはロックしないでください。
- ② 対象者の足がベッドの下端(フットボード側)を向くように対象者を回転させます。
- ③ コントローラーの降下ボタンを押し、静かに対象者をベッドに降ろしていきます。対象者の体重がスリングにかからなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを降下させてください。ハンガーが対象者に当たらないようご注意ください。
- ④ スリングのストラップが十分にゆるんだら、ストラップをフックから外します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください)



5-3 床からの移乗

床からの移乗の方法は、『ベッドからの移乗』の項目をご参照ください。

- ① ベッド上で装着する場合と同様に床上の対象者にスリングを装着します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)対象者の頭や首を適切に保護するため、頭部の下に枕を入れてください。
- ② リフトを対象者の近くに移動します。床から対象者を吊り上げる方法は下記のように2通りあります。
A) 図1のように、対象者の両脚が斜め方向にリフトの胴体に乗るようにリフトを位置します。
B) 図2のように、対象者の頭部をリフトの胴体部に乗せます。必ず枕をご使用ください。
- ③ コントローラーの降下ボタンを押し、スリングのストラップを掛けられる高さまでハンガーを降下します。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。ハンガーは『ベッドからの移乗』の項目にあるように、対象者にまたがるような状態でお使いください。ハンガーが対象者に対して左右均等の位置にあることをご確認ください。
- ④ スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部/体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。
- ⑤ 4つ全てのストラップがフックに掛かっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇ボタンを押し、床から対象者を起こしていきます。対象者をあまり高く上げる必要はありません。
- ⑥ 2で頭部をリフトの胴体部に乗せて対象者を起き上がらせた場合、リフトを移動する前に、対象者が支柱の方を向くように回転させてください。



図1



図2

5-4 床への移乗

床への移乗の方法は、『ベッドへの移乗』および『床からの移乗』の項目をご参照ください。

- ① 対象者を降ろす場所が安全であることを確認します。対象者の頭と首を守るため、対象者を降ろす場所に枕を置きます。
- ② コントローラーの降下ボタンを押し、静かに対象者を床に降ろしていきます。対象者を床に降ろす方法は、『床からの移乗』と同様に、2通りあります。
A) 図1のように、両脚がリフトの胴体に斜め方向に乗る向きで対象者を降ろします。
B) 図2のように、対象者の向きを変え、リフトの胴体部に対象者の頭部を降ろします。
- ③ コントローラーの降下ボタンを押し、静かに対象者を床に降ろしていきます。対象者の体重がスリングに掛からなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを下降させてください。ハンガーが対象者に当たらないようご注意ください。
- ④ スリングのストラップに対象者の体重がかかっていないことを確認のうえ、ストラップをフックからはずします。
- ⑤ 対象者に当たらないように注意してリフトを遠ざけ、スリングを対象者から取り外します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)



図1



図2

5-5 車椅子からの移乗



注意

車椅子から移乗する場合には、車椅子のブレーキがしっかりとかかっていることをご確認ください。

- 1 車椅子上で対象者にスリングを装着します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください)(図1)
- 2 ハンガーが対象者の大腿部の上方に位置するように、リフトを車椅子に近づけます。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。また対象者に恐怖心を与えないように、ハンガーを対象者の顔よりも低く下げた状態で近づけてください。
- 3 スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部／体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。
- 4 4つ全てのストラップがフックに掛かっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇ボタンを押し、対象者を上昇させます。対象者の臀部が車椅子の座面から離れたところで上昇を止めます。あまり高く上昇させる必要はありません。(図2)
- 5 車椅子を遠ざけます。



図1



図2

5-6 車椅子への移乗



注意

車椅子へ移乗する場合には、車椅子のブレーキがしっかりとかかっていることをご確認ください。

- 1 対象者が降りる位置に車椅子を準備します。
- 2 コントローラーの降下ボタンを押し、対象者を車椅子に降ろしていきます。下記の方法を組み合わせ、対象者を車椅子座面の奥に座らせてください。
 - 前方から対象者の膝を軽く押す。
 - 後方からスリングの後ろの握り手を引く。
 - 車椅子をキャスターアップする(少し後方に傾ける)※この場合は車椅子のブレーキはかけないでください。
- 3 車椅子の座面に臀部が接したら、ハンガーが対象者に当たらないように注意深くアームを下げていきます。ハンガーを対象者の顔の高さよりも低い位置まで下げるとスリングのストラップがゆるみます。
- 4 スリングのストラップが十分にゆるんだら、ストラップをフックからはずします。
- 5 リフトを遠ざけ、スリングを対象者から取り外します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)

5-7 移動する



警告

傾斜地での移動、昇降や段差の乗り越えは行わないでください。
傾斜している場所やカーペット上での移動、敷居の乗り越えなどを行おうとするリフトが転倒し、けがにつながる恐れがあります。



注意

リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車椅子などにぶつからないよう十分にご注意ください。



注意

対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、ベッドから車椅子へ移乗する際の方向転換など、ごく短い距離の移動のみに使用してください。車椅子などのように部屋から部屋へ移動する為には使用しないでください。

対象者を懸垂した状態でリフトの操作ハンドルを押す、もしくは引いて目的の位置までゆっくり移動させます。
安定性を増すために対象者を低い位置で懸垂してください。
リフトは脚部を開いた状態で操作するとより安定します。

5-8 安全のための機能



注意

手動降下ハンドルをお使いになる場合は、少しずつ上方に引き上げてください。一度にたくさん動かすとアームの降下スピードが速くなるのでご注意ください。手動降下ハンドルを突然放すと、けがや事故を防ぐためにアームが停止します。

モータームーバー205は以下のような安全のための機能を備えており、誤った取扱いによるけがやリフト本体の破損、故障を防ぎます。

- 重量オーバーセンサー
重量オーバーセンサーにより、耐荷重を超えた状態での操作を防ぎます。リフトの耐荷重は205kgです。
耐荷重を超えるとリフトは停止します。
- アーム圧迫防止機能
リフトのアームとハンガーが下がりがすぎて対象者に接触した場合、アクチュエーターはそれ以上は下方への力を発生せず、対象者を圧迫することを防ぎます。
- 緊急停止機能
緊急停止ボタン（赤色）を押す（オン）とアクチュエーターの電源を切ることができます。
緊急停止ボタンを飛び出すまで時計回りに回す（オフ）と、緊急停止機能が解除されます。
- 緊急降下機能
電子回路の故障等でコントローラーによる降下ができない緊急時に使用します。
緊急降下スイッチを押している間、アームが降下し続けます。
- 手動降下機能
緊急降下スイッチを押しても降下できない緊急時に使用します。
手動降下ハンドル（赤色）を少し上方に引きます。
ハンドルを上方に引き上げている間、対象者を降下することができます。
対象者を懸垂していない場合などでアームに荷重がかかっていない状態では手動降下機能は働きません。
- スリングのストラップが外れにくいフック形状
ハンガーのフックは、対象者を懸垂中にスリングのストラップが不用意に外れることを防止する形状です。
- 異常高温停止機能
電子回路は異常高温になると停止するように設定されております。
室内温度10℃から40℃の条件でご使用ください。

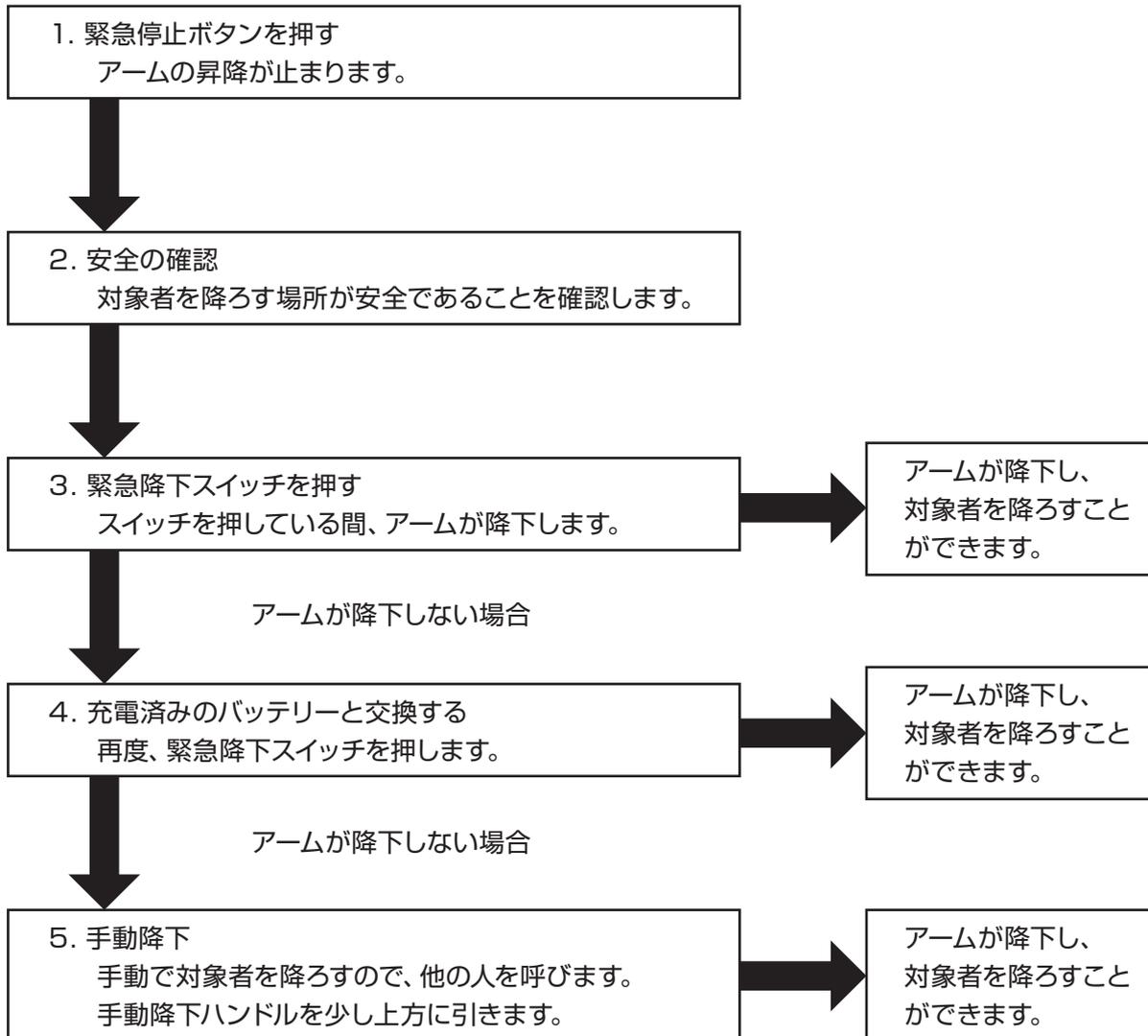
5-9 緊急時の降下方法



警告

緊急停止、緊急降下、手動降下の方法がわからなかったり、操作ができない場合にはお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

コントローラーが効かない等の緊急時には…



6. サービスランプ



モータームーバー205は、リフトの状態を知らせるためのサービスランプがバッテリーホルダー上にございます。

リフトが使用可能な場合は緑色のLEDランプが点灯します。

一定の期間（概ね10,000回）ご使用後、サービスランプのLED色が変わり、点検時期をお知らせします。

LEDはまず黄色に変化し、その後1,000回使用すると赤色に変化します。黄色いランプが点灯したら、速やかに販売店へご連絡の上、点検をご依頼ください。点灯と一緒に断続的ピー音もなる場合、リフトが至急にメンテナンスが必要であることを意味します。

サービスランプ	状態	
点灯なし	パワーセーブ中（電源が切れいている状態）	
緑色	使用可能	
黄色	点検時期のお知らせ	リフトは作動します。点検を依頼してください。
赤色		リフトは作動します。早急に点検を依頼してください。
赤色+音（断続的ピー音）		リフトは作動しません。至急点検を依頼してください。

7. バッテリーについて

7-1 バッテリーの取扱い



リフト使用中にバッテリーが切れても、対象者を下に降ろすだけの電力は残っています。

- バッテリーを長くご使用いただくため、充電後に数分間バッテリーを休ませてからご使用になることをお勧めいたします。
- また満充電のバッテリーを使用しないまま再度充電することはお止めください。
- バッテリーは、モーリフトパワーパック (26.4V NiMH 2.6Ah) を使用します。
- ご使用前に必ず充電をしてください。
- コントローラーもしくはバッテリーホルダーの充電ランプが点灯したらバッテリーを充電してください。(この時点では最大負荷で1回の昇降が可能です。)
- リフト使用中にバッテリーが切れることがありますので、バッテリーを2個持つことをお勧めいたします。
- 定期的に(10回に1回程度)コントローラーもしくはバッテリーホルダーの充電ランプが点灯するまで使いきってから、充電することをおすすめします。

7-2 充電方法



警告

充電器のコードは、傷つけたり重たいものを載せたり無理に曲げたりしないでください。コードを傷め、火災や感電の原因になります。

- 充電器は室内専用です。浴室内や水がかかる場所、ほこりの著しい場所ではご使用にならないでください。故障や感電、けがの原因になる恐れがあります。
- 充電器ご使用中、充電器を覆わないでください。
- 充電器のカバーは絶対に外さないでください。感電やけがの恐れがあります。破損や故障の場合には、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 充電中に何か異常に気づいた場合には、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーは定期的に充電を行ってください。バッテリーを長時間(3~4ヶ月)充電を行わず放置した場合、バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。



注意

バッテリーを充電する際には、必ず専用の充電器をご使用ください。誤った充電器をご使用になるとオーバーヒートし、バッテリーを破損する恐れがあります。また、付属のコードは、モーリフト用充電器専用品です。他の機器に接続しないでください。

- 充電器を平らなところに置く、もしくは壁に取り付け、付属のコードとコンセントを接続してください。充電器の電源は、電源プラグをコンセントに差し込むと入り、外すと切れます。
- バッテリーを矢印の向きに充電器に挿入し、バッテリーと充電器がきちんと接続するように静かに軽く下方へ押しします。
- 数秒すると充電器のLEDランプが黄色からオレンジ色に変わり、充電を開始します。LEDランプが緑色になれば充電完了です。

LEDランプの色	状態	
黄色	バッテリーなし	
黄色	初期化 (10 秒間)	充電中 ↓ ↓ ↓
オレンジ色	ファストチャージ	
緑色/黄色 (点滅)	トップオフチャージ	
緑色	トリクルチャージ	充電完了
オレンジ色/緑色 (点滅)	エラー	もう一度セットしてください



※使いはじめは、コードが床にふれますが、バッテリーを差し込んでいただくとコードが曲がり安定してお使いいただけます。

8. 保守・点検

8-1 お手入れ方法



注意

シンナー、ベンジン、研磨剤等はリフトの表面を傷つける可能性がありますので、使用しないでください。
また溶剤を直接リフトにかけないでください。

- リフト本体やコントローラー等が汚れたときは柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤に浸した布をかたく絞って拭いてから乾いた布で拭きとってください。
- 消毒をされる場合にはイソプロピルアルコールをご使用ください。

8-2 保管上のご注意



注意

リフトを使用しない時には、平らで安全なところへ置いてください。
直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

- リフトを長時間使用しない場合にはバッテリーを取り外しておくか、緊急停止ボタンを押して電源システムをオフにしておいてください。

8-3 点検



警告

安全にお使いいただくために、必ず定期的な点検を行ってください。
リフト本体やバッテリー、スリング等の劣化・交換時期は使用状況により異なります。異常がある場合はすみやかに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

- 下記の項目について毎日あるいは月1回程度、必ず点検を行ってください。

頻度	点検項目	点検内容
毎日	バッテリーの充電	充電ランプが赤色に点灯し、正しく充電されているか確認してください。
毎日	スリングの劣化	スリングに破れ、縫い目のほつれ等がないかを確認してください。
随時／月1回	汚れ	操作ハンドルやコントローラー等の汚れを拭き取ってください。
月1回	コントローラーの接続	コントローラーの接続部分がきちんと接続されているか確認してください。
月1回	本体、充電器の劣化	コントローラー、アクチュエーター、充電器のケーブルに傷などがないか確認してください。
月1回	アームの動き	アームを上下に動かして正常に動いているか、変な音がしないかなどを確認してください。
月1回	キャスターの動き	キャスターから髪の毛やごみを取り除き、動きが正常か確認してください。

8-4 廃棄方法

- モーターリフト ムーバー 205 を廃棄される場合には、各自治体の規則に従ってください。

9. 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

		参照ページ
支柱がぐらつく	支柱が胴体にきちんと入っていない、または支柱固定用ロックハンドルが緩んでいる可能性があります。 ⇒支柱をしっかり胴体に挿入し、支柱固定用ロックハンドルをしっかりと締めてください。	11
アーム (アクチュエーター) が動かない	バッテリーを入れ忘れている可能性があります。 ⇒バッテリーホルダーにバッテリーを入れてください。	11
	バッテリーが切れている可能性があります。 ⇒コントローラーの充電ランプがオレンジ色に点灯していたら充電済のバッテリーと交換するか、充電してください。	8
	緊急停止ボタンがオンになっている可能性があります。 ⇒緊急停止ボタンを時計回りに回して、緊急停止を解除してください。	8
	コントローラーのコネクターが外れている可能性があります。 ⇒コネクターを差し込んでください。	11
	過荷重の恐れがあります。 ⇒モーター ムーバー 205の耐荷重は205kgです。	17
アームが 下降しない	ハンガーが何かに当たってアーム圧迫防止機能が働いている可能性があります。 ⇒ハンガーが対象者に当たっていればアームを上昇させてください。 ハンガーの下に障害物があれば除去してください。	17
リフトの移動が できない	後輪キャスターがロックされている可能性があります。 ⇒後輪キャスターのロックを解除してください。	7

10. アフターサービスについて

10-1 保証書

本製品には保証書を添付しております。

販売店名、購入日などが記入されているか内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。

バッテリー等の消耗品、スリング(別売品)は保証の対象外です。

10-2 修理

「故障かな?と思ったら」をご覧ください、もう一度ご確認ください。

それでも異常があるときはすみやかにご使用を中止し、ご購入の販売店または弊社までご連絡ください。

【保証期間内】

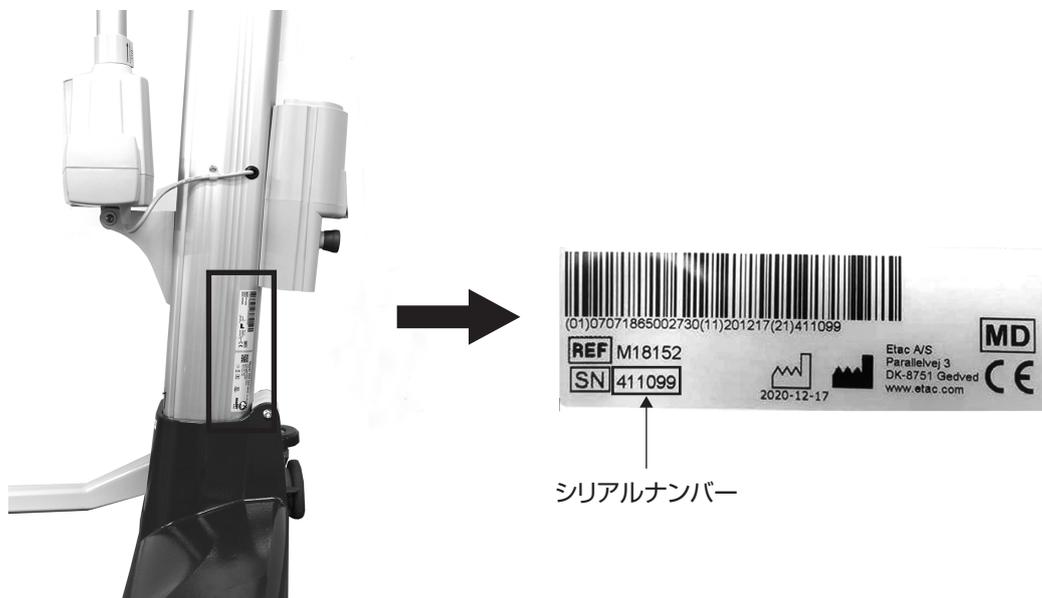
修理の際に保証書をご提示ください。保証規定に従って修理いたします。

【保証期間が過ぎているとき】

修理できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

修理をご依頼される際に連絡していただきたい事項

- 製品名、シリアルナンバー(リフト胴体部に記載)



- ご購入日(保証書に記載されている年月日)

- 故障または異常の内容(どのように使用していたら、どうなったなど、できるだけ詳しく)

- 施設名、お名前、ご住所、電話番号

※アフターサービスについてご不明な点はおご購入の販売店、または弊社までご連絡ください。

11. 保証書

本製品は、当社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一製品開封時に不良がございましたら保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に本保証書を添えて弊社またはご購入の販売店までご提出ください。

品名	モーリフト ムーバー 205				
お客様	ご住所 〒	TEL			
	(フリガナ)				
	お名前				
ご購入年月日		西暦	年	月	日
販売店名					
保証期間	1年間				

- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ご購入年月日、お客様の欄及び販売店名に記載のない場合は、無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。
- この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品のご使用中に故障又は不具合が発生した場合、弊社もしくはご購入の販売店までご連絡ください。
- 保証期間が過ぎた後の故障等についてご不明な場合、弊社もしくはご購入の販売店までお問い合わせください。

保証規程

1. 保証期間はご購入年月日から1年間です。保証期間内に発生した故障については、無償修理いたします。
2. 保証の対象となる部分はこの商品一式です。ただし、各部の消耗・劣化による故障、損傷は除きます。
3. 無償修理には、保証書の提出を要します。
4. 次の場合には保証はできませんが、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - (1) 保証書を紛失された場合
 - (2) 取扱説明書に記載されていない誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造・分解による故障・損傷
 - (3) 火災、地震等の天災地変による故障・損傷
 - (4) ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷
5. ご相談窓口は、弊社営業所またはご購入の販売店にて承ります。
6. 保証書の保証対象とならない故障および損傷についても弊社の責任に帰する場合は、保証期間にかかわらず、無償修理いたします。
7. その他
 - (1) 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 - (2) 保証書の再発行はいたしません。
 - (3) 送料につきましては、保証期間内は弊社負担、保証期間外はお客様負担とさせていただきます(保証規定6.の場合を除く)。

●輸入・販売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1 TEL (072)875-8008 FAX (072) 875-8010

＜awamura アカデミー

Managed and Operated by Pacific Supply

好きな場所で好きな時に… いつでも閲覧可能なE-ラーニングシステム
Kawamuraアカデミーに、モーリフトカレッジが開講しています。モーリフトに
関する特徴や使用方法、使用例について講義（動画）を好きな時に好きな場所で、
ご自由にご視聴いただけます。

ご登録はモーリフト特設ページから…



● 輸入・販売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本 社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

TEL 072 (875) 8008 FAX 072 (875) 8010

<https://www.p-supply.co.jp/>

販売店